



スト決戦体制を



参加者全員がストも決意

2.15集会所で

「清算事業団闘争勝利 / 『八九・三ダイヤ』阻止 / 反合・運転保安確立」 労働千葉総決起集会所は、二月十五日、千葉市民会館で開催された。JRの採用通知が来なかった日から二年、また増発・スピードアップ・要員削減の「八九・三ダイヤ改」への怒りも新たに、清算事業団の仲間を先頭

に各支部、営業協議会、家族会、総勢三五〇名が結集した。

われわれは、いよいよ目前に迫った清算事業団の決戦、さらには安全無視、強権的労務支配のJR体制を打ち破るためにこの二月～三月闘争をストライキを軸に総決起しなくてはならない。

集会は外山執行委員の開会宣言ではじまり、中野委員長あいさつ、来賓あいさつに県労連、動労水戸、メッセージを動労高崎連帯、動労西日本からうけ、清算事業団全員の決意表明、布施書記長の基調提起、旅客を代表し千葉運転区支部、貨物を代表し佐倉支部、家族会・林会長の決意表明をうけ、参加者全員がスト決起を決意した。



もはや闘う以外にない

布施書記長の基調報告

本日、われわれがどうして集ったのか。十二名の清算事業団の仲間の決意をうけて全体が共に闘っていくんだ、そして、この闘いを二月末～三月始めにかけての反合・運転保安確立、「八九・三ダイヤ改」阻止闘争と結合して、その第一歩を踏み出していくんだということをみんなが決意するためだ。

なぜ二月末～三月なのか？「三ダイヤ改」が提案されている。しかし、とても認められる中味ではない。このまま強行されたら第二、第三の東中野駅事故が起ることは必至だ。平野君が

殺されたが、動労千葉の組合員だった。そういう場面に直面しかねない状況が職場の中にある。そのことを真剣に考えなくてはならない。当局の労務政策は一切変っていない。現場の労働者をしめつけるだけしめつけたからこそこの事故が起ったんだ。しかし当局は真の事故原因を明白にしない。あげくのほてには「動労千葉がいるから事故が起きた」みたいな話をしてる。もはや、われわれは闘う以外にないんだ。ストライキに決起しよう。



2.16全支部で

街宣



新小岩支部 三回にわたって各戸ビラ入れを貫徹。
西船橋駅 営業協議会で独自に街宣。
津田沼支部 津田沼駅前街宣。
木更津支部 早朝、木更津駅前街宣。N交通の労働者がバスを止めてビラを受け取りに来る。
館山支部 館山駅前街宣。雨にもかかわらず、ビラの受け取りもままです。
勝浦支部 いすみ支部 大原駅前街宣。大雨で苦闘したが貫徹。
佐倉支部 佐倉駅前街宣。「頑張ってくれ」の声援も。
銚子支部 銚子駅前街宣。タクシンの運転手も「ビラよく読んでくよ」
京葉支部 稲毛海岸駅前。思ったより乗降客が少なく、二時間かけて貫徹。でもビラの受け取りは良かった。
千葉駅 幕張・清算事業団・家族会 千葉駅前街宣。国労もスト決起集会を行っている。夕刻、国労ストと動労千葉決起で千葉駅前、当局に対する怒りのつぼ。

この一年が勝負



佐倉清算事業団 林氏

わたしたちは二年前の二月十六日、国家的な不当労働行為によってJRの採用通知がこなかった。その時は、多少なりのショックがあった。しかし、この二年間JR採用のみなさんが頑張る強い心を見て、私達も必ず原職を奪還するんだと清算事業団当局のおい出し攻撃と闘いぬいてきた。

いま、各地労委の勝利命令が出ている。つまり、われわれに不利な点はない。勝利の展望が大きく切り拓かれています。

時限立法期限切れまであと一年、敢然と闘わなければならない。しかし、地労委だけではだめだ。われわれ十二名が最先頭で闘いぬく。このことを十二名全員が決意している。ぜひともご支援願います。

(そのほか、十二名全員が決意表明しました。)

敵よりの二日長

来賓あいさつ

県労連広田 事務局長

労働運動は新たな時代に入ります。その中で動労千葉もこれまでの運動をひきついていっていただきたい。かつて「敵より一日長く」ということが労働者の合言葉になっていた。労働運動は職場で闘うものです。それが力になっていく。共に頑張ります。



動労水戸 高野氏

(辻川委員長のメッセージ) 二年前の二月十六日は国鉄労働者にとつて忘れることのできない日だ。この二年間のわれわれの闘いによって早くも「分割・民営化」体制は音をたてて崩れ始めている。今年こそ決戦です。



清井弁護士

清算事業団十二名を原職復帰させるためには、裁判闘争、地労委闘争、そして十二名のみならず全組合員の闘いの三つが強く結合しなければなりません。むこう一年間、この闘いを強化して闘おう。弁護士もみなさんとともに闘います。

必らず運動でストライキをのりこめ



貨物代表・佐倉・宮内支部長

この間の動労千葉の闘いに確信をもって闘いぬこう。貨物会社が動労千葉でまとまっているから貨物当局がそう簡単に手を出せない状況になっている。



旅客代表・千転・繁沢支部長

動労千葉の組合員が清算事業団の仲間をとり戻していく闘いに決起しなくてはならない。清算事業団の仲間を奪還する闘いは、われわれJRでの闘いである。長期波状ストをひきついで運動でのストライキを必ずかちとる。「三月ダイ改」を許すな!



営業代表 永井副議長

「三月ダイ改」と合わせて営業関係十二名削減を提案してきた。いまださえ電話の対応をまともに出来ない状況であるのに、さらに馬車馬のように働けというのだ。こうした状況を許さず、解雇者、清算事業団、強制転者の原職奪還に向けて闘いぬく。



家族会 林会長

二年前の二月十六日、普段無口なお父さんが、「JRの採用通知が来なかったエー」と言ってきた。パレンタインデーの後だったので「激辛チョコ」をもらったなあと思った。当局の攻撃は厳しいとは思いますが、明るく闘いましょう。



2.16 国労の仲間たちもストに決起!